

北薩感染症情報

2019年第43週(10月21日～10月27日)

【問い合わせ先】〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.la.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	1	11	1.57	↗	-	-	4	0.80	↗	-	
小児科定点	RS	-	-	-	1	11	2.75	↗	-	3	1	0.33	↓	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	2	-	-	↓	-	1	3	1.00	↗	-	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	3	3	0.75	→	-	6	7	2.33	↗	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	31	5	1.25	↓	-	5	1	0.33	↓	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	-	-	↓	-	1	-	-	↓	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	2	2	0.50	→	-	21	6	2.00	↓	◎	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	15	12	3.00	↓	◎	-	2	0.67	↗	-	
	突発性発疹	-	-	-	-	3	0.75	↗	-	-	3	1.00	↗	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	8	6	1.50	↓	-	-	1	0.33	↗	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	1	1	1.00	→	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	/	-	/	/	/	/	-		
報告数合計		-	-	-	65	54	/	↓	/	37	28	/	↓	/	

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 伝染性紅斑の警報が10週連続継続中
 ・出水保健所管内 手足口病の警報が8週連続継続中

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 梅毒(患者1人)
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

注意) 川薩保健所管内のインフルエンザの報告が定点あたり1.57と、流行開始の目安である1.00をこえました。ワクチンの接種等の予防対策をお願いします。

(注意報・警報)

○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、12名(定点あたり報告数3.00)の報告がありました。

10週連続の警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

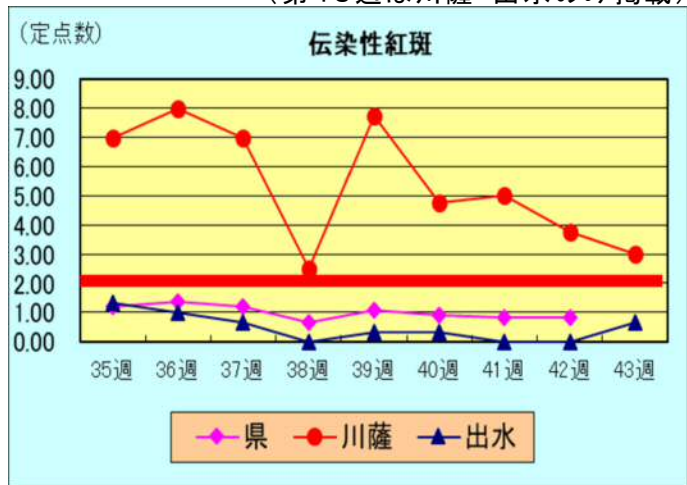
出水保健所管内からは、2名(定点あたり0.67)の報告がありました。

注意)

伝染性紅斑は、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。

予防法)

両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。一般的な予防対策として、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけることが重要です。妊婦は患者に近づかないようにしましょう。



○手足口病について

【警報開始基準値 5.0, 警報終息基準値 2.0】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週の手足口病の発生状況は、川薩保健所管内からは、2名(定点あたり報告数0.50)の報告がありました。

出水保健所管内からは、6名(定点あたり報告数2.00)の報告がありました。

8週連続の警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

注意)

手足口病は、水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。

予防法)

一般的な予防対策として、患者に近づかない、手洗いの励行を心がけることが重要です。



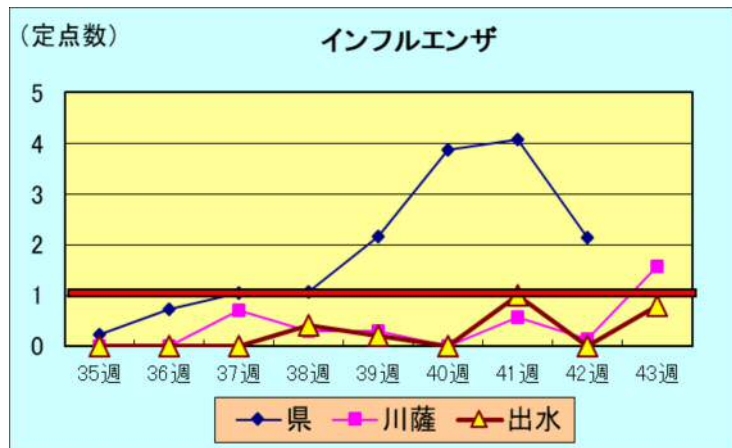
(注意) 川薩保健所管内で、インフルエンザの
定点あたりの報告数が、流行開始の目安で
ある1.00をこえました。

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

川薩保健所の第43週は、定点あたりの報告数が1.57となり、「インフルエンザ流行開始の目安である1.00」を超えました。

出水保健所も定点あたりの報告数が0.80であり、今後注意が必要です。

下記の内容を参考に予防に努めてください。



◎ 特徴と対策について

「重症化して合併症を引き起こす、いちばん身近な感染症」

- インフルエンザの合併症は死に至る場合も
特に高齢者にとって、インフルエンザは大変危険な病気です。抵抗力が弱い高齢者や乳児、持病のある人は、肺炎を併発し、最悪の場合は死に至る場合もあります。
- インフルエンザの予防法
・手洗い、マスク、予防接種
(飛沫感染、接触感染の予防)
- インフルエンザにかかってしまったら
・すみやかに受診
・自宅療養の注意点
家族への感染を防ぐため、なるべく家族から離れた個室で療養し、マスク着用、部屋の換気を行うことが重要です。
- 咳エチケットも「うつさない」「うつらない」ための重要なマナー
咳やくしゃみができる際には、ティシュペーパーなどで鼻と口を押さえることが重要です。

※ 厚生労働省インフルエンザ啓発ツールをリンクしています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/keihatu.html>



インフルエンザの感染を防ぐポイント...



インフルエンザ予防接種...